#### 矢沢地域 振興会報



第172号 令和5年10月1日

編集・発行 矢沢地域振興会

〒025-0016 花巻市高木 19-24-14 矢沢振興センター内 電話・FAX 29-5480

# 矢沢地区文化祭

11月11日(土)・12日(日)矢沢振興センター

## 〇 展示品を募集します!



◎ 出展申込書:10月26日(木)までに矢沢 振興センターへご提出ください。

なお、申込書は矢沢振興センターにあります!

- ◎ 作品の搬入:11月10日(金)9時~16時
- ◎ 作品の搬出:11月12日(日)15時以降
- ・事務局:矢沢地域振興会 ☎ 23-2171 (FAX 兼用)

たくさんの方のお申し込みを (^)o(^) お待ちしております・・・ **♪** # **』** 

### ♥ 振興センターに園児の歓声が響き渡る

高木地区にある「ママこども保育園」では、9月15日(金)に矢沢振興センター講堂において、運動会を行いました。当日は高気圧に覆われ素晴らしい秋晴れとなり、残暑厳しい中での開催となりました。その中でも可愛い盛りの園児たちは忙しい中を駆けつけてくれたお父さん、お母さんに元気いっぱいの姿をアピール。会場は園児の歓声と泣声?が鳴り響き、親子での楽しいひと時を過ごしました。日頃の練習から熱心に取り組まれた先生方大変ご苦労様でした。





#### ○大船渡・陸前高田市への移動研修 【明老大学9月例会】

前日のまとまった雨も止み、絶好の行楽日和となった9月22日。明老大学の移動研修のバスは35名を乗せ、復旧が進む大船渡・陸前高田市方面へ向かいました。天気にも恵まれ参加した皆さん概ね満足なされたようでした。参加者からは「酔仙酒造では、施設見学でお酒造りの奥深さを知ることができた。試飲も大いに役立った。長安寺ご住職のお話は、日常生活に多くのヒントを与えてくれた」との感想を頂きました。





長安寺住職の有難い説教

酔仙酒造の説明に納得



#### 秋の全国交通安全運動 9月21日-30日

交通安全協会矢沢分会(大森松司分会長)では、矢沢地域の交通安全を願い各地区の役員の皆さんが交通安全啓発用のぼり旗立てを行う。9月21日早朝、雨の中願う交通事故撲滅!



#### ● 矢沢伝統芸能伝承大会闲催決定

9月22日、矢沢伝統芸能 伝承大会実行委員会を開催。今年度の伝承大会について、11月19日(日)開催等の要綱を決定。大会運営の詳細についても協議しました。大会概要については後日お知らせします。



# ○ 矢沢地区小地域福祉活動計画第1回策定員会開催

昨年から今年にかけて4回にわたり開催した矢沢地区地域福祉懇談会を受けて、小地域福祉活動計画の第1回策定員会が行われました。冒頭、懇談会のメンバーの中から21名が策定委員として委嘱され、委員の中から佐藤和見委員長、佐藤智明副委員長が選任されました。議事では、事務局から活動計画策定の概要、福祉活動計画(案)について説明があり、委員全員から案に関する感想や意見が述べられました。10月以降の会議では事務局案を基に活動計画の具体化について話し合われることとなりました。



▼ 10 月の「やさわこども広場」矢沢振興センター
11 日・25 日 (水) 10 時 お待ちしています!





#### ≫ 高木団地会館で楽しい敬老会!

高木第三行政区(伊藤昇区長)では、9月17日(日)、地区に在住する75歳以上の高齢者を招待して恒例の敬老会を実施しました。当日は男性21名、女性53名の74名が参加、踊りなどの余興に、美味しい飲み物、食べ物に舌鼓をしながら楽しく交流を深めました。

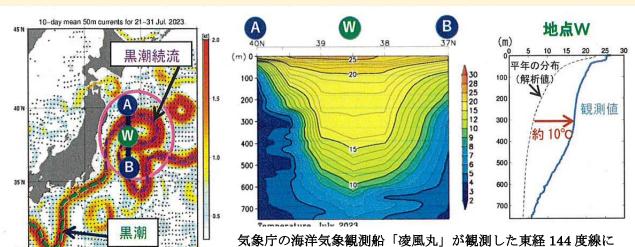


#### \* 移動図書館(ぎんが号)運行日程

10/12 (木)	団地会館	13:40~14:00
10/12 (木)	福祉センター	14:15~14:45
10/18 (水)	高木観音	09:20~09:50
10/18 (水)	振興センター	10:05~10:35
10/18 (水)	やさわこども園	10:50~11:20

#### 【事務局員のつぶやき】(三陸沖の海洋内部の水温が記録的に高くなっています!)

寒流と暖流がぶつかる(潮目)三陸沖は、両方の魚が集まる最高の漁場として名高いのですが、最近は必ずしもそう言い切れないところがあるようです。新聞などで三陸沖の海洋内部の水温が異常に高くなっているという報道がありました。三陸沖では2022年(令和4年)秋以降、海面水温が平年より高い状態が続いており、気象庁の海洋モデルにより、海洋内部まで高い水温が続いていることが解析されていました。これを受けて、気象庁の海洋気象観測船「凌風丸(りょうふうまる)」(1380 トン:気象庁では海洋気象観測船は「啓風丸」1483 トンと合わせて2隻所有)は令和5年7月22日~25日に三陸沖で海洋観測を実施し、海洋内部で平年より約10度も高い水温を観測するなど、記録的な高温を直接確認しています。これは平成5年4月以降に顕著となった黒潮続流(日本南岸に沿って流れる黒潮の、房総半島以東の流れを黒潮続流と呼んでいます。)が三陸沖まで北上していることが原因と考えられ、水産資源の分布などに関連する海洋環境への影響が懸念されています。いずれ美味しい三陸の海の幸を食欲の秋に十分規能したいものです!



気象庁の海洋気象観測船「凌風丸」が観測した東経 144 度線に沿った水温の分布(気象庁資料)